



特別支援教育ほっと通信

令和6年3月
西部教育局

移行支援会議 - 引継 -

進学等の際に、「どのような支援があれば、子供たちが安心して学校生活を送ることができるのか」を確実に伝え、新しい環境で必要な支援を検討する会議

【参加者】 保護者、進学先の教職員、在籍学校の教職員 等

【内容】 ①学校や家庭での児童生徒の様子や支援の内容を、進学先の教職員に伝える。
②保護者の希望に沿って、個別の教育支援計画等を引き継ぐ。

移行支援会議の進め方のポイント（小学校から中学校への例）

第 回 移行支援会議

【次第の例】

1. 日時 平成 年 月 日 ()

【開催場所の工夫】

- ・ 1回目は在籍校で開催
- ・ 進学の時期が近くなれば、進学先の学校で開催

2. 場所 ○○立○○小学校

3. 出席者 保護者
○○小学校
□□中学校
◇◇（関係機関）

【事前に連絡】

- ・ 当日、保護者にお話いただく内容については、じっくり考えられるように余裕をもって事前に伝えておくこと
- ・ 出席できない関係者には、事前に助言等を聞き取っておくこと

4. 目的 (○○さんが) が情報を共有し合い、よりよい支援ができるようにする。

【目的の共通理解】

参加者全員が正しく理解すること

5. 支援の経過と様子

- (1) 小学校より
- (2) □□□□より
- (3) ◇◇◇◇より
- (4) 保護者より

【支援の検討】

これまで行われていた支援を土台（継続）とし、**新年度に必要な支援**について検討すること
（学習面、生活面、社会性・対人関係面 等）

6. 今後の方針

【保護者の安心感】

- ・ 児童が在籍している学校の先生が司会進行
- ・ **和やかな雰囲気**で会が進行できるような環境の工夫

お花を飾るなどのワンポイント！



【個人情報保護に留意】

個人情報が流出しないよう、会議後には「**レジュメ等は保存用を除いて廃棄する**」などの対応が必要

校内での支援の検討については、ほっと通信「支援会議-校内での支援を検討-」（平成30年7月号）を御確認ください。

